

今月の一言

キーワード：見送りの三振や四球について

イチロー哲学：バットを振らずに打席が終わる。

そんなにつまらないことはない

単に一塁に出るということでは、四球で出塁しても、ヒットを打ってもまったく変わらない。しかしバッターの心理状態からいえば、そのプロセスはまるで違う。「ストライク」という言葉の本来の意味は、「(バットを) 振る」ということ。メジャーでは、ストライクゾーンに来たボールは必ず打たねばならないという暗黙の了解が存在する。だから見送りの三振でもしようものなら、そのバッターは臆病者という烙印を押されて即刻マイナー行きの運命にある。

これまでに練習したことも、頭で構築した理論も、実践の場で通用しなければ意味がない。つまり理論と実践はまったく異なるものであることを頭のなかに叩き込まなければならない。バットを振らなければ、結局何も学べない。

確かに、イチローはヒットを打つためにバットを振っている。ただし、ヒットが出なくても彼は落胆しないし、どんな結果に終わっても、ほとんど表情を変えることはない。ヒットにならなくても、バッターボックスで真剣勝負のピッチャーに対峙することで得られることはたくさんあるのだ。すべては行動することからはじまるのである。

失敗を恐れず、万全の計画と準備で

売上は、戦略で伸ばし 利益は、管理で確保

2008年11月25日

さいのう とおる

追伸：早めの対応、冬の準備は万全ですか？